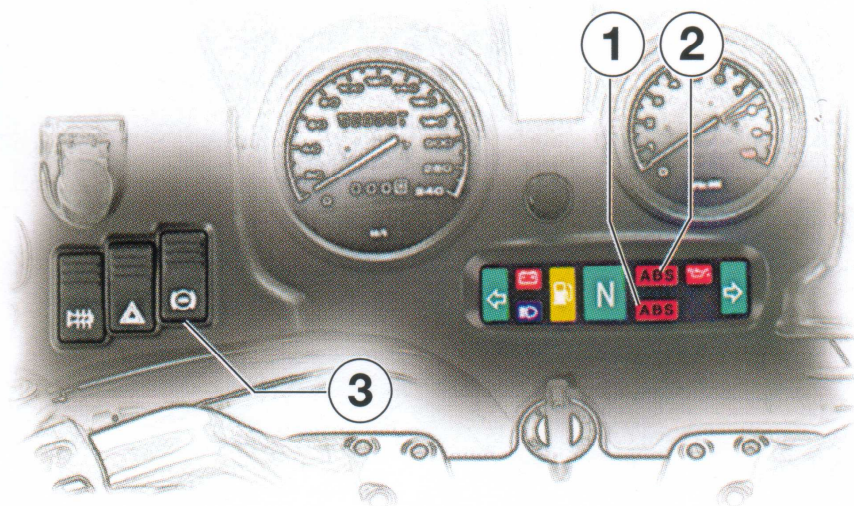




ABSキャンセルボタン

ABS装着車では、ABSのオン／オフや故障をライダーに確実に知らせるため、能動的な警告システムを搭載しています。例えば、ABSが故障した場合は警告灯(1)と(2)が交互に点滅し、故障の発生をライダーに知らせます。

警告灯の点滅は、ABSキャンセルボタンを押すことで消すことができます。これにより、ライダーはABSが作動していないことをもう一度確認し、それに応じたライディングスタイルをとることができます。ただし、ABSキャンセルボタンを押した場合でも、ABSが作動していないことをライダーに伝え、注意を促すため、約4分半間隔で警告灯が点滅を繰り返します。



警告:

ABSに故障が発生した場合(警告灯(1)と(2)が点灯)、ABSによって確保されていた安全性は失われます。このような状況で強くブレーキをかけると、フロントホイールがロックし、転倒することがあります。また、フロントタイヤのグリップが大きくなりすぎ、リヤホイールが路面から浮き上がることがあります。

- ABSの故障で警告灯(1)と(2)が交互に点滅している場合:
- ABSキャンセルボタン(3)を押します。
- これで、警告灯(1)が消えます。
- 警告灯(2)は、点灯したままになります。
- 約4分半が経過すると、両警告灯が再び点滅を開始します。
- ここで再び、ABSキャンセルボタン(3)を押すと警告灯(1)が消え上記の作動を繰り返します。



注意:

ABSが故障している場合や、意図してABSをオフにしている場合でも、ブレーキシステム自体は正常に作動します。